

① スキンシップをしっかりと

*子どもには親のスキンシップが不可欠です。優しい言葉がけだけでなく、肌と肌が触れ合うことによって、子どもは親が自分を愛してくれていると感じるのです。

② 子どもの話に耳をかたむけよう

*子どもが話しかけてきたときは、なるべく手をとめて目を見て話を聞いてあげてください。そして、うなずいたり、喜んだり、励ましたりしながらゆったりとした態度で話を聞きましょう。



小学生の子育て 5つのポイント



③ たくさん誉めよう

*子どものいいところをたくさん誉めましょう。誉められると自分に自信がでてきて、何にでも挑戦しようとしています。親は誉めようと思えば、子どもをしっかりと見なければなりません。ほんの些細なことでもいいです。たくさん誉めて子どもに自信を持たせましょう。

④ 叱るより考えさせよう

*子どもが何か悪いことをしたときに、「なぜ、そんなことをしてしまったのか」「本当はその時どうすればよかったのか」を考えさせましょう。子どもに小言を言ってもよくなりません。「ああ、自分はダメな子だ」という気持ちを植え付けることになってしまいます。

⑤ 子どもといっしょに何かをしよう

*本を読む（絵本の読み聞かせ）、草花を育てる、生き物を飼う、お風呂に入る、出かける等、子どもといっしょにいろんなことをしてください。その中で、言葉では教えることのできない、例えば命の大切さ、人と人とのコミュニケーション、人としての生き方に触れるなどいろんなことを学ぶことができます。



子どもを励まし、許し、誉めること。
子どもを受け止め、肯定し、認めてやること。
誠実とやさしさと思いやりを身をもって示す。
— それが親の役目です。

(『子どもが育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト著より)

